

シンポジウム ～ 津波に負けない住まいとまちづくり ～

2011年3月11日の東日本大震災では、福島・宮城・岩手・青森の多くの沿岸部で想定外の津波による甚大な被害を受けました。津波による被害の姿は、平地沿岸やリアス形状沿岸によって異なります。

今回は地域の地形特性による被害状況内容を再確認するとともに、今後予想されるであろう津波に対する建築の在り様を探るため、参加者全員による「津波と建築」を考えるワークショップ型のシンポジウムを開催することにいたしました。

皆様のご参加をお待ちいたしております。



○実施日時 2018年9月3日（月）午前10時～12時

○開催場所 せんだいメディアテーク1階

○シンポジウム 参加費は無料です

尚、先着50名の方に「津波と建築に関する冊子」を差し上げます

第1部 津波に今後どのように立ち向かうか

パネリスト 佐藤 慶一 氏 「宮城県仙台西高等学校教諭」

～ 仙台平野における津波による建物の破壊状況を詳しく調べる ～

徳水 博志 氏 「元雄勝小学校教諭・（一社）雄勝花物語 共同代表」

～ 雄勝における津波被害と高台移転状況と生業再生について ～

橋本 孝一 氏 「東松島市商工会 会長」

～ 東松島市における津波被害状況と復興状況について ～

第2部 これからの津波に対する建築の在り方を探る

パネリスト 阿部 憲子 氏 「ホテル観洋 女将」

～ 震災からどう立ち直したか ～

田中 礼治「東北工業大学名誉教授」+（株）大成建設ハウジング

～ なぜコンクリート住宅は残ったか ～

パネリスト5名の方々と会場の皆さんでこれからの沿岸部の建築の在り方について語り合います

進行 ……伊藤 美由紀（東北工業大学安全安心生活デザイン学科准教授・仙台八木山防災連絡会幹事）

挨拶 ……田中 礼治（東北工業大学名誉教授・仙台八木山防災連絡会 会長）

ファシリテーター ……菊地 良覺（東北工業大学安全安心生活デザイン学科教授・仙台八木山防災連絡会幹事）

主催 東北工業大学地域安全安心センター / 仙台八木山防災連絡会

協力 （一社）日本津波建築協会 / 学都仙台コンソーシアム復興大学部会

問い合わせ先 東北工業大学地域安全安心センター（☎022-304-5594/fax022-304-5591）